

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(大学院生命科学研究部(薬学系))

目標1: 男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
薬学部の男女比は約1:1で、男女とも就職率は100%なのでキャリア形成の意識は十分高いと言える(基本方針1)。また、積極的に女性研究者の講演会を開催する機会を設けている(基本方針1)。創薬・生命薬科学科(4年制)の学生は男女とも100%が大学院博士前期課程に進学しているので、教育の機会均等は既に達成されているといえる(基本方針2)。
目標2: 男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
薬学部では3年生から研究室配属になるが、研究室ごとに男女の定員はないので、既に男女平等な研究環境であるといえる(基本方針1, 2, 3)。
目標3: 男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
「かかりつけ薬剤師」として地域に根ざした薬剤師を目指す学生も増えている。この傾向は今後も増加すると思われる(基本方針1)。
目標4: 次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
積極的に女性研究者の講演会を開催する機会を設けている(基本方針4)。教員公募の際には、女性を積極的に雇用する旨を公募要領に記載している(基本方針1)。セクシャル・ハラスメント相談員のリストを掲示板に示し、各種ハラスメントに関する相談に対応しやすいようにしている(基本方針5)。
その他: 目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。